



平成27年12月埼玉県議会定例会 美田むねあき 一般質問

平成27年12月8日埼玉県議会定例会にて一般質問を行いました。詳細は埼玉県ホームページ内「埼玉県議会」をご確認ください。

(○質問要旨 ●答弁要旨)

児童・生徒の学力向上施策について

- 知事には公教育の中での学力向上の位置付けをどう考えるかと高校までの一貫教育についての感想
- 教育長には学力向上施策の検証と今後の取り組み
- 知事:想像力・知恵の基となる基礎学力を身に付けることが大事であり公教育における学力向上をしっかり位置づけてもらいたい。一貫教育については指導の目が行き届くと評価される一方、中学・高校の進学の段階での出会いで感じる一種の緊張感が子供達にパワーを与える。
- 教育長:今年度から全国初となる小4から中3まで県学カテストを実施し、継続して学力の伸びや課題を把握出来るようにしたことで、学習内容の定着・学習意欲を高める取り組みに繋げる。また、県内4市町で「考え・話し合い・学び合う学習推進事業」を進めており今後県内に普及させていく。



発達障害者への就労支援について

- 県が設置した「発達障害者就労支援センター」の成果と、途中離職防止の取り組み
- 川口市・草加市・川越市に設置。就職支援～就職後の相談支援までワンストップで提供している。職場に対しても定期的に訪問してフォローしている。



特別支援学校生徒の就労支援について

- 県が行なっている職業訓練の取り組み「チームピカピカ」の目的と成果、今後の展開について
- 一般就労出来なかった卒業生を雇用し、働きながら就労に必要な力の習得と障害者雇用のノウハウを企業にも提供することを目的としている。採用した14名のうち6名が一般就労を実現しており、この取り組みを一層充実させ、業種の幅を広げていく。



ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050の進捗状況について

- 温暖化ガスの削減状況とそれを踏まえた取り組み
- 2013年度の排出量は、基準年の2005年と比べて8.9%の削減となったが予定の進捗状況より遅れている。今後は家庭においては温室効果ガスの削減、産業においては燃料電池自動車への切り替え補助などで目標達成を目指す。



PM2.5大気移動測定車の活用について

- 測定車を導入した目的と稼働状況、PM2.5対策への活かし方
- 国内で発生するPM2.5を時と場所を選ばず測定出来るようになり、また普及啓発にも活用している。今後はデータを解析し発生源の特定と効果的な対策に繋げる。



流域下水道施設の洪水対策について

- 河川に隣接している下水処理場および関連施設の洪水対策
- 構造上、主要な設備の多くが地下に埋設されているため、浸水対策の重要性を認識している。現在、施設全体をコンクリートや盛土などで覆ったり、個別の施設ごとに防水扉を設置し効果的な浸水対策を進めていく。



県警察におけるテロ対策の推進状況について

- 世界中から観光客が集まるビッグイベントを控える埼玉県として、予想しうる危険への取り組みとテロ対策の状況
- 既に平成26年度に国際スポーツイベント開催予定都市と警察・消防・自衛隊も参加する国民保護実動訓練を実施。さらに先般、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会テロ対策「彩の国」ネットワークが設立された。今後も強い危機感を持って取り組んでいく。



ノロウイルスによる食中毒の防止対策について

- ノロウイルスによる集団食中毒の対策について
- 保健所が食品取扱施設への立ち入り調査を年間7万件以上実施し、きめ細かい監視指導を行っている。新たに食品事業者向けの対策資料を作成し従業員指導の支援をしていく。併せて県民へ予防策を周知していく。



県内の老朽橋の対策について

- 老朽化した県や市町村が管理している橋の維持管理の計画と市町村への支援
- 県管理の橋梁は2,770橋あり、そのうち約4割が高度成長期に作られ、今後一斉に更新時期を迎える。県では平成17年度から定期点検を行っており、特に15m以上の橋梁は5年ごとに専門の技術者により詳細に点検している。この点検結果に基づき、早めの修繕を行う予防保全を計画的に実施している。また、市町村への支援については、約16,000橋あるため負担が大きく、引き続き国へ支援を働きかけるとともに、平成26年度に国土交通省と「埼玉県道路メンテナンス会議」を設置。市町村を対象にした職員の技術講習会や発注支援を行った。



(仮称)三郷流山橋の整備について

- 建設予定の三郷市をはじめ、埼玉県全体に経済波及効果が期待できる(仮称)三郷流山橋の計画の進捗状況
- 具体的には県道三郷松伏線から(仮称)三郷流山橋を通して千葉県内の県道松戸野田線バイパスまでの約2kmを整備予定。現在の進捗状況は橋梁の詳細設計や取付道路の用地測量、補償物件の調査を実施している。平成27年度中に用地買収に着手する。



埼玉県議会議員 美田むねあき 県政報告

無所属県民会議 三郷市彦成1-98-6 TEL : 048-957-1007

去年4月の埼玉県議会議員選挙では多くの皆様のご支援のもと、初当選させていただくことが出来ました。現在は2月18日から3月25日までの日程で定例議会が行われております。今議会は主に平成28年度の予算を審議します。一般会計予算は1兆8,805億2,600万円(前年比2.8%増)、特別会計は6,493億6,972万円、企業会計は2,793億9910万円となり、さらに国の補正予算に伴って編成した平成27年度補正予算と一体的に実施することで加速度を増して事業を展開していく意気込みです。

埼玉県は間もなく人口減少に転じます。そして2025年には75歳以上の高齢者が118万人となり、全国一のスピードで高齢化が進みます。これに伴う将来の医療・介護需要の増大や生産年齢人口の減少に伴う活力の低下など、いわゆる「2025年問題」に挑戦し、未来に希望が持てる社会を創出するため、県は3つの大きな取り組みを進めていきます。

一つ目は、稼ぎ手が減少するなかで社会の活力を維持していくため「先端産業創造プロジェクト」推進と県内中小企業の経営革新を支援していきます。二つ目は、「健康長寿埼玉プロジェクト」の全県展開や「地域包括ケアシステム」の構築で、高齢者が希望に合わせ就労や地域活動など様々な分野で活躍できる社会を実現する「シニア革命」を大きなムーブメントにしていきます。三つ目は、「埼玉版ウーマンミクスプロジェクト」の推進など県民一人一人の可能性を引き出し能力を開花できるような「人財」の開発に取り組みます。この他にも子育て世帯向けの住宅や保育の充実、不妊治療への支援など実効性のある少子化対策で、都市と地方の要素を併せ持ち、日本の縮図と言える埼玉県で2025年問題に対する成功モデルを作り全国に発信していきます。

私は県議会議員として、これらの取り組みが奏功するよう議論を重ね、また、知事を始めとした県執行部としっかりパイプを築き、726万県民・13万三郷市民の希望に満ちた生活の実現に力を尽くしてまいります。

美田むねあき 平成28年2月3月の政治活動



2月1日	会派会議	2月26日	県議会 代表質問
2月2日	常任委員会視察	2月27日	菅原文仁県議(戸田市)県政報告会
2月3日	同上	2月28日	三郷市文化協会祭
2月4日	三郷青年会議所 賀詞交歓会	2月29日	県議会 一般質問
2月6日	三郷インター南部竣功式	3月1日	県議会 一般質問
2月7日	みさどシティハーフマラソン	3月2日	県議会 一般質問
2月8日	打ち合わせ	3月3日	議案調査
2月9日	地下鉄8号線 県知事陳情	3月4日	県議会 常任委員会
2月11日	三郷子ども会育成連絡協議会 新年会	3月7日	地元要請陳情
2月12日	会派会議	3月8日	県議会 特別委員会
2月13日	スポーツ少年団 少女ドッジボール大会	3月9日	予算特別委員会
2月14日	政治を考える勉強会	3月10日	予算特別委員会
2月15日	まちひととご創成総合戦略特別委員会 会派会議	3月11日	予算特別委員会
2月18日	後援会打ち合わせ	3月12日	三郷市体育協会体育賞授与式
2月19日	県議会2月定例会開会日(～3/25まで)	3月13日	グランドゴルフ連盟グランプリ大会
2月20日	三郷の川をきれいにする会定例会	3月14日	予算特別委員会
2月21日	並木正年県議(鴻巣市)県政報告会	3月15日	予算特別委員会
2月22日	予算説明会	3月16日	予算特別委員会
2月23日	予算説明会	3月17日	予算特別委員会
2月24日	要望ヒアリング	3月18日	まちひととご創成総合戦略特別委員会
2月25日	県議会 代表質問	3月19日	三郷市自主防災会講演会
		3月20日	美田宗亮 県政報告会



12月定例会 一般質問



越谷流山線の1日も早い完成を要望



直接上田知事へ地元問題を伝える

美田宗亮プロフィール

- 昭和48年5月6日 三郷市彦成に生まれる
- 彦郷小学校～城北学園中・高等学校～日本大学商学部
- あさひ銀行(現りそな銀行)日本橋支店勤務を経て、ミタアルマイト工業(有)取締役
- 平成21年 三郷市議会議員初当選(2期)
- 平成27年 埼玉県議会議員初当選
- 産業労働企業常任委員会
- 自然再生・循環社会対策特別委員会
- 三郷高等学校PTA・後援会 顧問
- 三郷市サッカー協会 副会長
- 三郷市ボウリングクラブ第2団 育成会 副会長
- 三郷市スポーツチャンバラ協会 相談役
- 両親 妻 長男 次男の6人家族



会派 無所属県民会議

昨年10月15日、会派「無所属県民会議」は、上田清司知事と予算要望に関する面談を行い、342項目におよぶ「平成28年度埼玉県予算編成に関する要望書」を提出しました。

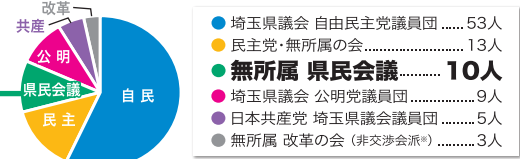


平均46歳のたたかう政策集団!

「無所属県民会議」は、10名の議員を擁する県議会の第三会派です。わたしたちは、悠久の歴史を誇るわが国の伝統と文化を尊重しつつ、一党一派に偏することなく県民本位の視点に立ち、謙虚な姿勢と柔軟な発想をもって郷土の持続的発展を志す、「たたかう政策集団」です。今後とも、上田清司知事との太いパイプと各議員の豊富な政治経験を活かし、積極果敢に県政改革を加速してまいります。

代表 鈴木 正人 (47) 志木市(4期) 国土館大、衆議院議員秘書 志木市議	副代表 醍醐 清 (63) 朝霞市(3期) 日大、市議員 朝霞市議
幹事長 岡重夫 (63) 岡岡市(3期) 防大、陸上自衛隊 旧白岡町議	総務会長 菅原 文仁 (40) 戸田市(2期) 明治大院、会社役員 戸田市議
政務調査会長 井上 航 (36) 和光市(2期) 立命館大、会社員 和光市議	幹事長代理 石川 忠義 (46) 久喜市(1期) 埼玉大院、会社員 久喜市議
総務副会長 並木 正年 (45) 鴻巣市(1期) 亜細亜大、自営業 鴻巣市議	政務調査副会長 美田 宗亮 (42) 三郷市(1期) 日大、会社員 三郷市議
政務調査副会長 吉良 英敏 (41) 幸手市・杉戸町(1期) 大正大、僧侶 衆議院議員秘書	総務副会長 大嶋 和浩 (37) 熊谷市(1期) 青山学院大、市議員 熊谷市議

※役職、氏名(年齢)、選挙区(期数)、最終学歴、職歴、政治歴の順(3月1日現在)



※非交渉会派は3人以下の会派で、議会運営に関する交渉権もっていない会派

川口 3,068	浦和 2,450	さいたま市東区 2,418	さいたま市南区 2,375	さいたま市中央区 2,357	さいたま市北区 2,302	さいたま市緑区 2,273	さいたま市西区 2,188	さいたま市東区 2,126	さいたま市南区 2,087
熊谷 2,087	鴻巣 2,087	蕨 2,087	川越 2,087	川口 2,087	浦和 2,087	さいたま市東区 2,087	さいたま市南区 2,087	さいたま市中央区 2,087	さいたま市北区 2,087

平成28年度 埼玉県 予算特集!!

一般会計合計 **1兆8,805億2,600万円** 前年比 **▲2.8%**
 全会計合計※: **2兆8,092億9,483万円** 前年比 **▲3.9%**
※一般会計、特別会計(13)、公営企業会計(5)の合算

1 今年度の重点政策

「2025年問題」への挑戦

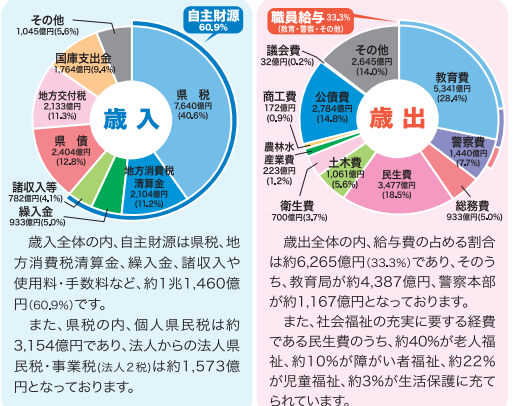
「稼ぐ力」の強化	シニア革命	「人財」の開発
先端産業創造プロジェクトの推進	アクティブシニアの活躍支援	実効性ある少子化対策
県内企業・中小企業の競争力強化	健康長寿埼玉プロジェクトの推進	埼玉版「7/17 10/1」の更なる推進
健かな農林業の推進	地域包括ケアシステムの確立	多彩な未来の人材育成

5か年計画の具現化

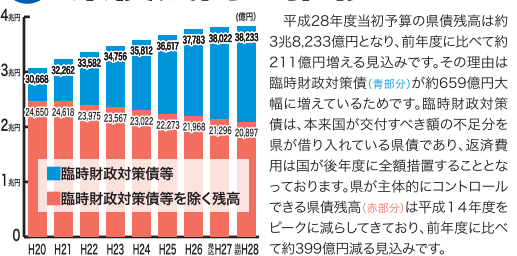
埼玉10カ年計画の推進	ヒートアイランド対策の推進	医療体制の充実
激甚化する災害への備え	オリンピック・パラリンピック・ラグビーワールドカップ受入体制の推進	

埼玉県はこれまで「三大プロジェクト」など全国のモデルとなり得るような施策に積極的に取り組んできましたが、平成28年度は、いわゆる「2025年問題」を克服する足掛かりとすべく、①成長産業の支援と中小企業の生産性向上を促す「稼ぐ力」を強化し、②アクティブシニアが様々な分野で活躍できる「シニア革命」、そして③女性の社会進出や実効性ある少子化対策を推進する「人財」開発といった3本柱に重点をおいた予算配分を行います。また、「安心・成長・自立自尊の埼玉」を実現するため、5か年計画12の戦略に係る施策にも予算配分を行いました。

2 歳入・歳出の内訳



3 県債残高の推移



4 分野別の施策と予算

一般会計予算(人) **259,030円** 前年比 **▲2.8%**

教育委員会

注目施策
 〇学力・学習状況調査実施事業(小4~中3、平成28年4月14日実施).....2,155万6千円
 〇近未来学校教育創造プロジェクト(教材共有システムの構築等).....3,572万円
 〇運動部活動指導充実支援事業(部活動支援員派遣、教育負担軽減等).....5,616万円

教育局予算:4,810億円

前年比 **▲0.5%**

施設管理・納税・私学助成

注目施策
 〇私学助成(運営費補助、父母負担軽減事業補助、幼稚園人材確保等).....4,786,385万円
 〇税収確保対策の強化(個人県民税対策、自動車税納税率の向上等).....1,487万円
 〇フアンリテイマジメントの推進(施設ごとの長期保全計画作成等).....1,366万円

総務部予算:3,381億円

前年比 **▲4.7%**

地域行政・交通政策

注目施策
 〇地籍調査事業の推進(16市町村への補助助成).....1億7,524万円
 〇サイバー攻撃に対応する情報セキュリティの強化.....1億8,906万円
 〇市町村に対する総合的な支援(高齢者高齢化対策モデル支援等).....81億9,973万円

企画財政部予算:2,934億円

前年比 **▲0.2%**

子ども・高齢者・障害者支援

注目施策
 〇保育所持機児童対策の推進(新安心子ども基金による保育整備等).....7,934,988万円
 〇介護人材の確保・定着の促進(優良介護事業所認証事業等).....15億8,862万円
 〇障害者差別解消の推進(障害者差別解消支援地域協議会の開催等).....609万円

福祉部予算:2,253億円

前年比 **▲14.3%**

医療環境整備・疾病対策

注目施策
 〇妊娠前から子育て期までの切れ目ない支援体制の構築.....1億4,731万円
 〇救急医療体制の充実(大人の救急#7000、小児救急#8000の相談等).....1億8,206万円
 〇認知症対策の推進(早期発見・診断・治療と予防、検診の推進等).....7,947万円

保健医療部予算:1,842億円

前年比 **▲3.4%**

警察

注目施策
 〇警察官64人の増員(警察官条例定数11,396人→11,460人).....1億5,492万円
 〇サイバー犯罪対処能力の向上(保安官連携した取り組みの推進等).....6,858万円
 〇振り込み詐欺シャットダウンプロジェクト(即止対策員の増員等).....1億2,210万円

警察本部予算:1,440億円

前年比 **▲2.2%**

道路・河川

注目施策
 〇首都直下地震に備えた「埼玉の盾」作戦による道路格闘.....1,874万円
 〇県土づくりの担い手確保・育成への支援(県道定着・資格取得支援等).....6,363万円
 〇川の国埼玉はつららプロジェクトの推進(市町村と連携した河川活用等).....4,500万円

県土整備部予算:842億円

前年比 **▲2.7%**

※「予算総額」は億単位で、「県民1人あたりの金額」は予算総額を埼玉県人口「726万人」で割り10円単位まで表記しています。この数字はあくまで目安ですのでご了承ください。

公営企業会計予算

病院局予算:890億円

- 〇小児医療センター新病院建設推進.....163億9,611万円
- 〇小児医療センター新病院備品整備.....61億8,355万円
- 〇循環器・呼吸器センター新館(仮称)等整備.....76億6,724万円

企業局予算:1,062億円

- 〇自家発電設備整備(大久保・吉見浄水場等).....30億2,693万円
- 〇浄水場備蓄施設整備(大久保浄水場等).....24億8,181万円
- 〇浄水場施設の耐震化(大久保・吉見浄水場等).....30億4,593万円

2月定例会において上程された平成28年度の一般会計予算額は約1兆8,800億円。県民一人当たり換算すると約25万9,030円になります。皆様の大切な税金がどのように使われているのかをわかりやすくするために、分野(部局)ごと、県民一人当たりいくらか使われるかを概算でご紹介します。

早わかり!! 県民一人あたりの予算の使われ方

産業支援・観光

注目施策
 〇新エネルギープロジェクト推進事業(次世代蓄電池の開発等).....3億8,558万円
 〇多様な働き方推進事業(ウーマンミクス、認定企業ステップアップ支援等).....1,284万円
 〇アクティブシニア活躍支援事業(キャリアセンターの設置等).....1億7,734万円

産業労働部予算:228億円

前年比 **▲3.9%**

農業・林業・食の安全

注目施策
 〇農業産物ウーマンミクス事業(農業女子ビジネスネットの開設等).....2,125万円
 〇県産米「特A」プロジェクト推進事業(「移のきずな」の販売戦略等).....2,291万円
 〇農村村への移住促進ワンストップ体制整備事業(相談窓口の設置等).....4,059万円

農林部予算:223億円

前年比 **▲1.8%**

市街地整備・県営住宅

注目施策
 〇ラグビーワールドカップ2019に向けた会場整備(熊谷ラグビー場).....13億1,406万円
 〇増え続ける子育て世代プロジェクト(若年世代子育て支援住宅等).....1億2,382万円
 〇市町村と連携した空き家・老朽マンション対策.....1,204万円

都市整備部予算:219億円

前年比 **▲11.4%**

消費生活・文化振興

注目施策
 〇東京五輪・パラリンピック、ラグビーW杯に向けた取り組み.....4億3,694万円
 〇埼玉発・高齢者安全運転推進プロジェクト(アドバイザーによる啓発等).....1,507万円
 〇埼玉会館の改修(平成29年3月時点で休館予定).....47億7,128万円

県民生活部予算:132億円

前年比 **▲63.2%**

環境対策・みどり・川の再生

注目施策
 〇埼玉エコタウンプロジェクトの拡大・深化(ミニエコタウンの拡大等).....2億7,249万円
 〇自立分散型エネルギーの普及推進(防災拠点への設置支援等).....2億7,249万円
 〇合併処理浄化槽への転換促進と浄化槽維持管理の適正化.....5億6,407万円

環境部予算:114億円

前年比 **▲2.9%**

危機管理・消防

注目施策
 〇地域強靱化の推進(地域防災推進、新たな活断層の地震被害調査等).....2,374万円
 〇減災に向けた自助と共助の推進事業(自主防災組織リーダー養成等).....2,051万円
 〇防災行政無線の再整備(衛星系の再整備、地上系の実施設計等).....16億3,046万円

危機管理防災部予算:63億円

前年比 **▲4.3%**

県議会運営

議会費:32億円

前年比 **▲0.2%**

借金の返済

公債費:2,784億円

県債残高 **3兆8,233億円** 一人あたり **52万6,630円** 前年比 **▲0.4%**

浄水場の運営など

企業局予算:1,062億円

- 〇自家発電設備整備(大久保・吉見浄水場等).....30億2,693万円
- 〇浄水場備蓄施設整備(大久保浄水場等).....24億8,181万円
- 〇浄水場施設の耐震化(大久保・吉見浄水場等).....30億4,593万円

下水道の運営など

下水道局予算:843億円

- 〇施設の老朽化対策の推進.....138億9,088万円
- 〇高度処理率100%の推進(久喜・和光・戸田等).....3億3,752万円
- 〇資源の有効活用の推進(水素ステーション).....5,000万円